

# 掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ <http://www.chemistry.or.jp/news/kejiban.html> をご参照下さい。

## 石油学会野口記念賞候補者募集

対象分野：新燃料油開発に関する技術、石油精製技術および石油留分新用途開発技術に関する基礎的研究および研究開発に関わるものであり、広い意味で我が国の石油エネルギーおよび石油代替エネルギーの安定供給に貢献するものとする。賞の種類と受賞資格：(いずれも石油学会の

会員に限定しない) (1) 野口記念賞：本賞の趣旨に合う研究者、技術者の個人またはグループで、多大な功績のあるもの。年1件以内。賞金100万円/件、(2) 野口記念奨励賞：本賞の趣旨にあう若手研究者、技術者。受賞の年の4月1日現在で、個人の場合は40歳未満のもの、グループの場合は原則として40歳未満のものとする。年4件以内。賞金50

万円/件。応募方法：応募は自薦、他薦いづれも可。所定の応募用紙に必要事項を記入し、8月31日(木)までに石油学会表彰推薦委員会宛に配達が可能である方法でお送り下さい。審査：石油学会で定めた審査方法により審査し、理事会の審議を経て決定します。問合せ：(公社)石油学会 表彰委員会係 電話(03)6206-4301 FAX(03)6206-4302

## 平成29年度(第49回)

### 「東レ理科教育賞」募集のご案内

東レ理科教育賞の対象：中学・高校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案に基づいた教育事例(教育の現場で実績のあるもの)。応募資格：中学・高校の理科教育を担当、指導、または研究する方。褒賞：(1) 東レ理科教育賞文部科学大臣賞(賞状、銀メダル、副賞賞金100万円：東レ理科教育賞の中で特に優れているもの)、(2) 東レ理科教育賞(賞状、銀メダル、副賞賞金70万

円)、(3) 東レ理科教育賞佳作(賞状、副賞賞金20万円：東レ理科教育賞に次ぐもの)、(4) 東レ理科教育賞奨励作(賞状、副賞賞金20万円：東レ理科教育賞、佳作とは別に、理科教育上広く普及を奨励するもの)を合わせて10件程度選定。応募手続き：所定の応募用紙(申請書)に必要事項を記入し、当会宛1部郵送。応募要領参照(6月下旬に昨年度の受賞作品集とともに全国の中学、高校、高専の学校長経由理科担当教諭宛などに送付)。応募用紙は下記HPからダウンロードするか、はがき、FAXにて請求下さい。応募締切日：平成29年9月30日(土)必着。問合せ・申込先：103-0021 中央区日本橋本石町3-3-16 公益財団法人東レ科学振興会 電話(03)6262-1656 FAX(03)6262-1901 [http://www.toray-sf.or.jp/information/science\\_edu.html](http://www.toray-sf.or.jp/information/science_edu.html)

## “掲示板”欄への掲載申込について

### ①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限ります。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 掲載は1回に限ります。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

### ②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい(英文は和文の0.55字で換算)。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。<http://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

### ③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 掲載月以降に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

### ④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿はURL：<http://mailform.csj.jp/kejiban/> の専用投稿フォーマットを使用して下さい。
- ② 専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

#### 【使用できない文字例】

- ・半角カナ：ア𠬞外、記号(約物)：、。「(ノ等
- ・ローマ数字：I II III IV、丸数字：①②③④

#### 【使用可能な文字例】

- ・全角カナ、全角記号、アルファベットのI、V、X、Vを組み合わせでローマ数字を表現。
- ・文字の代わりに(1)(2)の表記を使用。

・組文字は全角(株)(有)mmでの表記にする。

- C) テキスト上で表現できない文字(外字、作字)については使用を避けして下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し、受理メール(受付番号付)に●印の指示を行いに送って下さい。その際、投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定(上付き、下付き、イタリック体)を希望の場合は、タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】上付： $P^{2+} \rightarrow P < \text{SUP} > 2 + < / \text{SUP} >$

下付： $CO_2 \rightarrow CO < \text{SUB} > 2 < / \text{SUB} >$

イタリック：*italic* →  $< I > italic < / I >$

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。
- ④ 電子投稿が完了しましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合がありますので、必ず受理通知をご確認下さい。
- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

### ⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 当月25日まで：URLフォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛の旨をご通知下さい。
- ② 26日以降は原則として訂正はできません。

### ⑥問合せ

#### 【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局 電話(03)3292-6165

#### 【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話(03)5843-3580 E-mail: [kakou-shi@sanbi.co.jp](mailto:kakou-shi@sanbi.co.jp)